



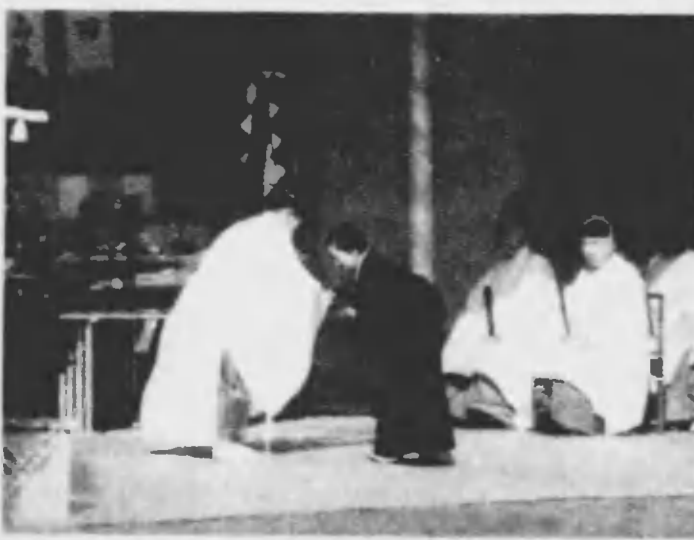
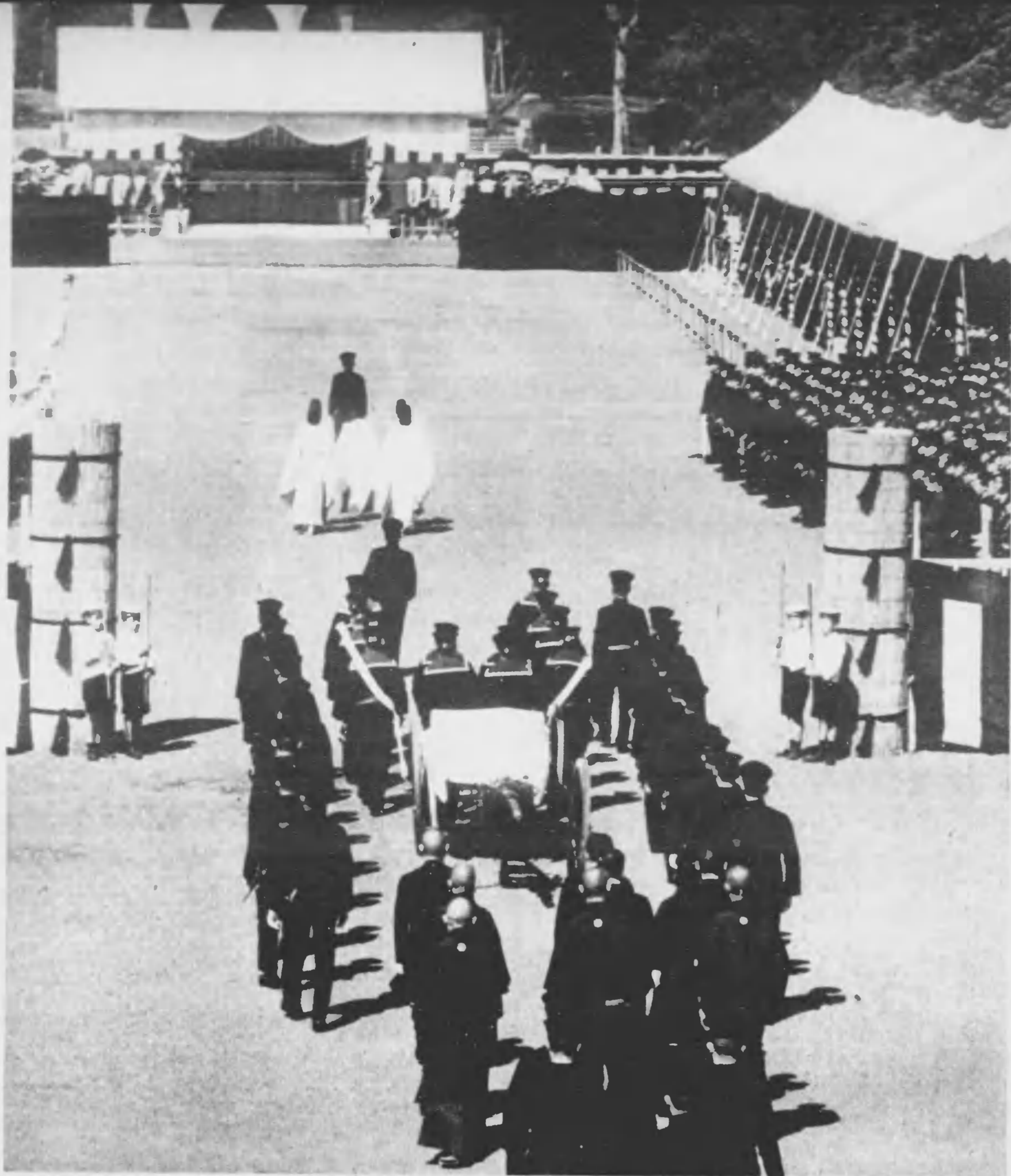
週寫眞報

編輯局報情
四月廿二日 第七百七十一號

棄權すな
四月卅



こゝらで一つ振り返つてみるよう
 『變つたなあ』と、きつと驚くに違ひ
 昨日までの米英的考へ方や生き方
 いつの間にかそんなものから脱皮して
 しつかりと國土に根をおろし
 毎日毎日を生きてゐたのだ
 生きてゐるのだ
 生きて行くのだ



↑ 棺車は帆立舞臺へ進む
 紋服の腰かきめて岩佐中佐の母堂は
 玉串を捧げて懐かしの道影を仰ぐ

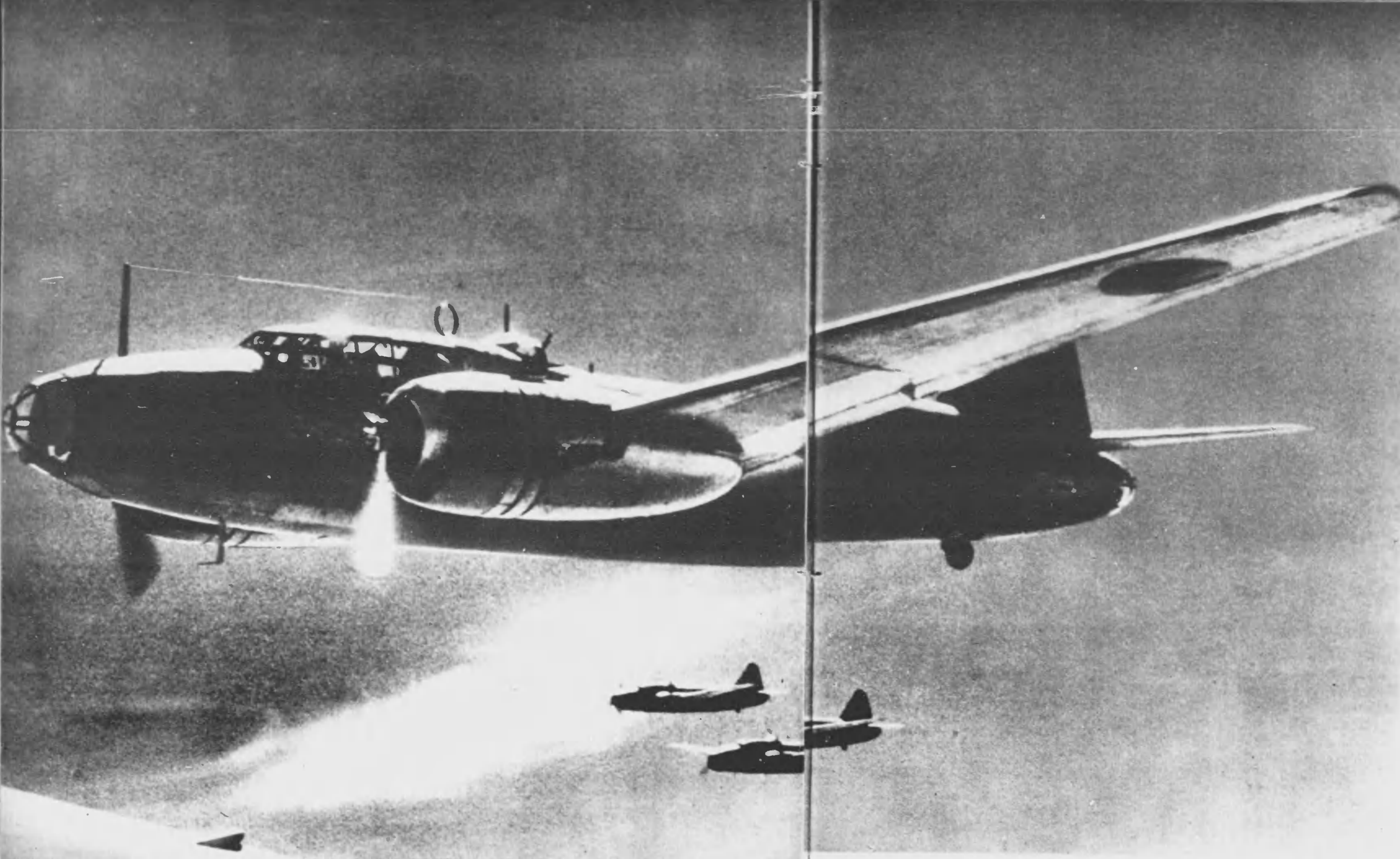
軍神九柱の
 合同海軍葬

四月八日 東京日比谷公園

昭和十六年十二月八日未明、ハワイ
 真珠灣を襲撃し、米太平洋艦隊主力を
 覆滅して灣内深く沈み、再び還らない
 純忠無比の軍神九柱の合同海軍葬は、
 月こそ變れその命日に當る四月八日、
 廣瀬中佐の海軍葬以來絶えて久しい森
 殿の盛儀をもつて日比谷公園葬場で執
 り行はれた。この日一億國民は齊しく
 新たな感謝と限りない追慕崇敬の念を
 もつて永へにその御靈を送つた
 海行かは水漬く屍―九軍神の英靈は
 天翔つて、いまこそ祖國の榮光の前、
 春光うららかなこの葬場に至り、かく
 て醜の御柩、國の護りとして永へに
 神鎮まつたのであつた

海軍新鋭攻撃機 発表する

コインド洋上空を制圧するわが海軍新鋭攻撃機 撮影 海軍省



飛行機好きの友人が集ると話は結局、飛行機になった。そして落ちるところは何故世界一の軍艦や日本刀や大和魂までありながら、飛行機だけは駄目なんだら。餘計なお世話だよ君、そんな心配は軍人のすることだよ、いや日本人である以上心配して何か悪いんだ、國を思へばこそではないか、と櫻の見物も忘れて語り合ったのもついでこの間のやうな気がする。

その中には名譽の戦死をした友もあり、試験飛行中殉職した人々もあつた。昭和十二年四月六日神風號の襲撃さんと、先般名譽の戦死をされた飯沼さんを見送りに早朝、羽田飛行場を訪れた。純國産の神風號の發動機はその名も目出度い『壽』ではあるか、この單發で一万五千三百五十七キロを翔撃できるだらうか、こんな狭い坐席に長時間坐つて行く南勇士を見ては

軍の奇な感じさへした。幸ひにして無事戻れたとしても、どうせ歸りは船だろうと思つた。ところが點火栓の交換さへ必要としない程の好調で飛んで歸つたのである。南氏の精神力、體力、技術の精進であると共に、この飛行機と發動機を作り上げたわが航空技術陣の勝利でもある。越えて昭和十四年八月二十六日エッポン號は金星發動機をその左右に備へて、離陸時に五万二千八百六十キロの世界一周大飛行の壯途についた。中尾機長以下優秀なる乗員と自動操縦装置まで完備した同機は豫定通り實を結んだ。

その後、神風號によく似た陸軍偵察機とエッポン號によく似た海軍陸上攻撃機との活躍振りが次ぎ／＼新聞紙上を賑はして、これらの大飛行が實戦のための試験飛行であつたやうな気がしたのである。

いま考へてみれば當時既に二十六日、東京羽田飛行場を離陸、二天洋と五大洲を翔破して、圓程五万二千八百六十キロ、實飛行時間百九十四時間の新記録を樹立した。十月二十日東京に歸還した。



撮影 東京日日新聞社

た強さうな、輕さうな主翼、どん栗のやうな發動機房と環狀覆に包まれた信頼性に充ちた、強さうな發動機は

片舷飛行の餘裕もたつぶりだらう。その下側には中分なく引込められた降着車輪、葉巻のやうなツエッペリン型のゆつくりした副翼、これなら機上の作業に朝から晩まで頑強つて載いても心苦しくない胴體、すつかり改良された銃座、これでは敵も寄りつけまい。



神風號は昭和十二年四月六日東京羽田飛行場を離陸、二天洋と五大洲を翔破して、圓程五万二千八百六十キロ、實飛行時間百九十四時間の新記録を樹立した。

操縦席、渡洋も雲上も何でも御座れといひたいばかりの空中線、艦の尾端のやうながつちりした一枚の尾翼、速いだらう、高いだらう、長いだらうとその速度、上昇、航続等の性能を想像して微笑んでみる。この飛行機に大和魂を加へて賑はいかいへた爆弾を米英軍の頭上にたきつける様子を考へる。

寫眞を何冊もなめるやうにながめながら、發動機の爆音を耳に浮べながら、好きな芝居を見たよりも、甘い菓子をたべたよりも、うまい酒をのんだよりも、美しい音楽を聞いたよりも、もつと／＼うれいしい感と、この間買つたあの國債も、この間献納したアルミの古釜も、この飛行機の何處かに溶け込んであることを合點して、何ともいへぬ喜びが湧いてくる。

この飛行機、あの軍艦、そしてあの戦車、兵隊さん切味はどうですか、と聞いてみたくるのである(四月八日大昭和朝日の夜)

航空局 宮本晃男

イボン洋上 既に敵影なき

四月五日からセイロン島ツリンコマリ及びコロンボ港を主な目標として行われたわが海軍のインド洋作戦は、ハワイ真珠灣の強襲にも比ぶべき大膽果敢な「煙霧り」戦法であった。その四月九日までの戦果は大本營發表のやうに、英甲巡二隻、同航母一隻を撃沈、同飛行機百二十機を撃墜させた。*



この一戦において、わが方かインド洋方面の英海軍兵力に與へた徹底的な打撃は、單に軍略的な意味にとゞまらず、一時は妥協成立を思はせた英印交渉を急轉決裂に導き、クリップスに倉皇として歸國のやむなきに至らしめる政治的な波動を描いたことになつてみてわかるやうに、今後英・印に與へる政治的影響は實に測り知れないものがある。

かくして三百餘年の長い間、インド洋の制海權を握り、インドを資源として飽くなき搾取を續けてきた英國は、いまや皇軍進撃の前に、インド洋艦隊の主力を失ひ、またセイロン島の軍事基地を失ふことによつて、敵が最後の基地としてたむボンベイを丸裸にさらし、完全にインド洋から敗退するのやむなきに至つた。



わが海軍艦隊の予備を固く準備をせよとせよ。艦員と搭乗員の共同努力で整備される。○基地



機員はしごとと機員は「エンジンが動かないよ」の叫びはビタリと合つた。行くぞ、行くぞ。重大任務を帯びて機は出撃する。



海軍の護衛と護導によつて、わが艦隊は(○)めきしてインド洋を進む。

東は五千哩距るアメリカ西海岸に、いままた西は五千哩のインド洋上に、わが海軍は雄とした不滅の偉勳を打出た。インド洋上、堂々とわが海軍一艦の共同敵は續けられる。

の四種階級制度になると、インド人をバラモン(僧侶)、クシャトリーヤ(武士)、ヴェーシヤ(平民)、スードラ(奴隷)の四階級に分け、同じインド教徒であつても他の階級との結核はもとより同食事をすることさへ禁じられてゐる有様である

搾取と壓制の歴史

かういふ點でインドは支那よりも更に複雑で、規模の大きい獨立した小國家の雜然とした機械的な集りであるといへる。そしてこのバラ／＼の複合國家を一つのインドとしてまとめあげてゐるのが他ならぬイギリスの魔の手である

従つて、もしインドの實態をつかまうとするならば、この複雑な社會の上にイギリスの植民地といふ政治的な支配の外被をかぶせてみなければならぬ

イギリスのインド統治は、いまから八十餘年前に始まつた。即ち一七八八年世界の寶庫インドにイギリスが食指を動かす、まづ手始めにロバート・クライヴがベンガル地方の英領知事となり、次いで一八五八年イギリスが東インド會社からインドの支配権を手に入れた。今日までイギリスのインド統治は文字通りインド人に對する搾取と壓制の歴史に終始してゐるのである

かりにいまいインド人の家屋を例にとつてみても、それはまるで蒸籠の巢も同じである。椰子の柱、竹の梁、椰子葉の屋根、四方の壁は



近代工業になくはならぬゴムの主要な産物で、その大半はアメリカに輸出されるゴムの皮を剥いて樹液を採る人々

一尺ぐらゐの厚さに泥で固め、窓が少なく入口は極めて小さい。彼らの労働賃金は食費自給で大人の男一日四十錢位が通、相場である。従つて營養のある食物をまへ挿ることにはできず、労働能率は低下する一方である。労働能率が低下すれば賃金は増加しないといふ工合にめぐりめぐつて進んでいつたら、インド人の將來は一體どうなるだらう。宏壯偉麗なバラモン教殿堂の下に、咽ぶやうに稀比する土着民の陋屋にこそイギリスの搾取と壓制とを如實にみることができようではないか

名を興へ實を取る

現在インドの政治情勢は、第一次大戦の直後、幾多の英印紛争の結果、派遣されたサイモン現地調査委員の報告を基礎として出来上つた新統治法によつてゐるわけであるが、實はこの新統治法も第二次大戦の勃發によつて同法の基調をなしてゐるインド聯邦制結成に關する部分が大戦終了まで延期されることとなり、従つて實質的には依然として一九一九年に實施された舊統治法によつてゐるといつても過言ではない。またこの舊統治法といふものも、表面ある程度は自治を許してゐるやうにはみえるが、實はインド總督がインドにおける行政機關の最高首腦者として廣汎な権限を振り廻し、インド人官吏の位につけて彼らをやつたりながら巧妙に搾取と壓制とを続け

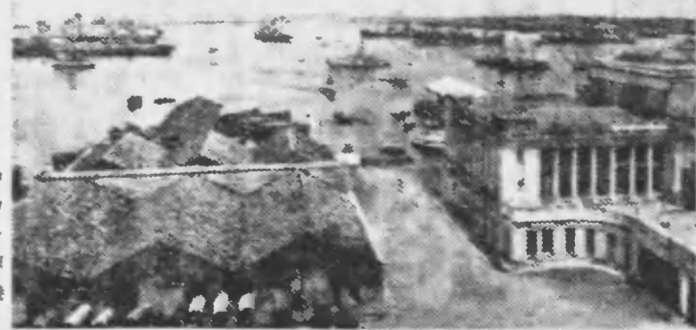
虐政への反抗

以上のことを念頭において、現在に至るまでのインドの反英獨立運動を振りかへつてみると、歴史に最初の反英運動として残つてゐるのは約六十年前の一八五五年、ボンベイに數名のインド青年が會合してイギリスの壓迫の堪へ難いことを語り合つた事件であらう。もちろん彼らはその二十年後の日露戦争に日本が勝利を得るまでは東洋人の力量を知らなかつたのである。日露戦争における日本の勝利は少數のインド青年に東洋人としての自覺を促したものであり、彼らの信念を一層高めたであらうことは容易に想像される。果して一九〇六、七年頃からは國民會議派のモットーも單なる反英からインド自治に代り、盛んに街頭デモが行はれた。イギリスが鐵蹄に鐵蹄を使用しはじめたのはこの頃からである

ついで一九一四年第一次大戦の勃發は、インドの民族運動に絶好の機會を興へ、翌一九一五年にはラホール、ベナレス、マンダレー等にインド獨立の烽火があげられたものである。しかし一九一七年八月、イギリスの兵站基地であるインドの反抗を恐れて、戦後にその自治を興へることを約束したイギリスのモンターギ宣言は、これらの反英運動を鎮壓したばかりでなく積極的な對英援助をさせるやうになり、大戦中インド兵の對外出兵数は百二十万、對英軍資金援助は三十億圓に上り、九十万人の戦死傷者を出したのである。だが大戦終了後この血の奉仕に對する報償としてインド民衆に與へられたものは、民族運動の彈壓を目的として正式の手續はなくとも人民を逮捕し公判に附する權利を政府に保障した、一九一九年のローラツト法にほかならなかつた

かゝつた陋劣なイギリスの欺瞞に對してインド民衆が激怒する筈は、一億七千万の印度民衆はつひに非暴力論の言葉を擧げて、それと押し合はすやうになつた。イギリスのインド青年はこ

島ノロイセ



四月五日、わが海軍部隊の攻撃を受けたセイロン島は、インド洋上にあるイギリス最大の軍事據点で、インドの南東に當り、これと最短距離四十哩の地點にある。面積四万七千六百九十九平方キロ、マンゴリーの案に似た島である。北西岸のマナルとインド本土の南東にあるラメシワラとの間はアダム橋と呼ばれる淺い砂堤で繋かれ、マナルからはこの島に沿つてインド本土まで鐵道が通じてゐる

中央部にはアダムス・ピークの峰をめぐつて千八百メートル乃至二千四百メートルの高峰が群がり、海を圍む低地は平原をつくつてゐる。セイロン島はイギリスの直轄植民地の一つで、インドとは土地が至つて接近してゐるにもかゝらず、政治的には直接關係なく、セイロン政府の最高首腦部である總督の下に立法、行政の二部が置かれてゐる

人口は一八七一年の調査によると二百四十五万五千七百七十八人で、このうち全人口の四分の三を占める人はシンハリ人である

宗教は佛教が最も盛んで、佛教徒はシンハリ人の大部分を占めてゐる。このほかにヒンズー教、回教、キリスト教などがあるが、セイロンではインドのやうにそれほど階級思想は強くない

今日セイロン島で最も重要な産物は茶、ゴム、椰子、米などであるが、なかでも茶は海外輸出の主要なもので、一九三二年の輸出總額は二万五千三百万ポンドといはれる。ゴムの栽培の發達は近年目覚しく、一九三二年には一億一千二百二十四万二千ポンドが輸出された。またセイロンに最も適した植物の一つは椰子で、ことに乾椰子は第一次大戦後にはかきその産額を増してゐる

わが空軍に應じて置かれたコロンボはセイロン島の首府で、同島の西南岸に位し、政治、經濟、文化、交通の中心地であるばかりでなく、インド洋の門戸を扼して世界交通上實に重要な位置を占めてゐる。即ち南はオーストラリア、南アフリカへ、東は日本、支那、ビルマへ、西はスエズを経て歐洲各國へ、さらにインド大陸兩岸間の交通の要路に立つてゐるのである。その人工の限りを盡した港灣施設は世界的に有名である

東北岸の軍港トリノコマリとも、この重要な港灣頭地を叩き潰されたイギリスの船手は大きいものであるにちがひない

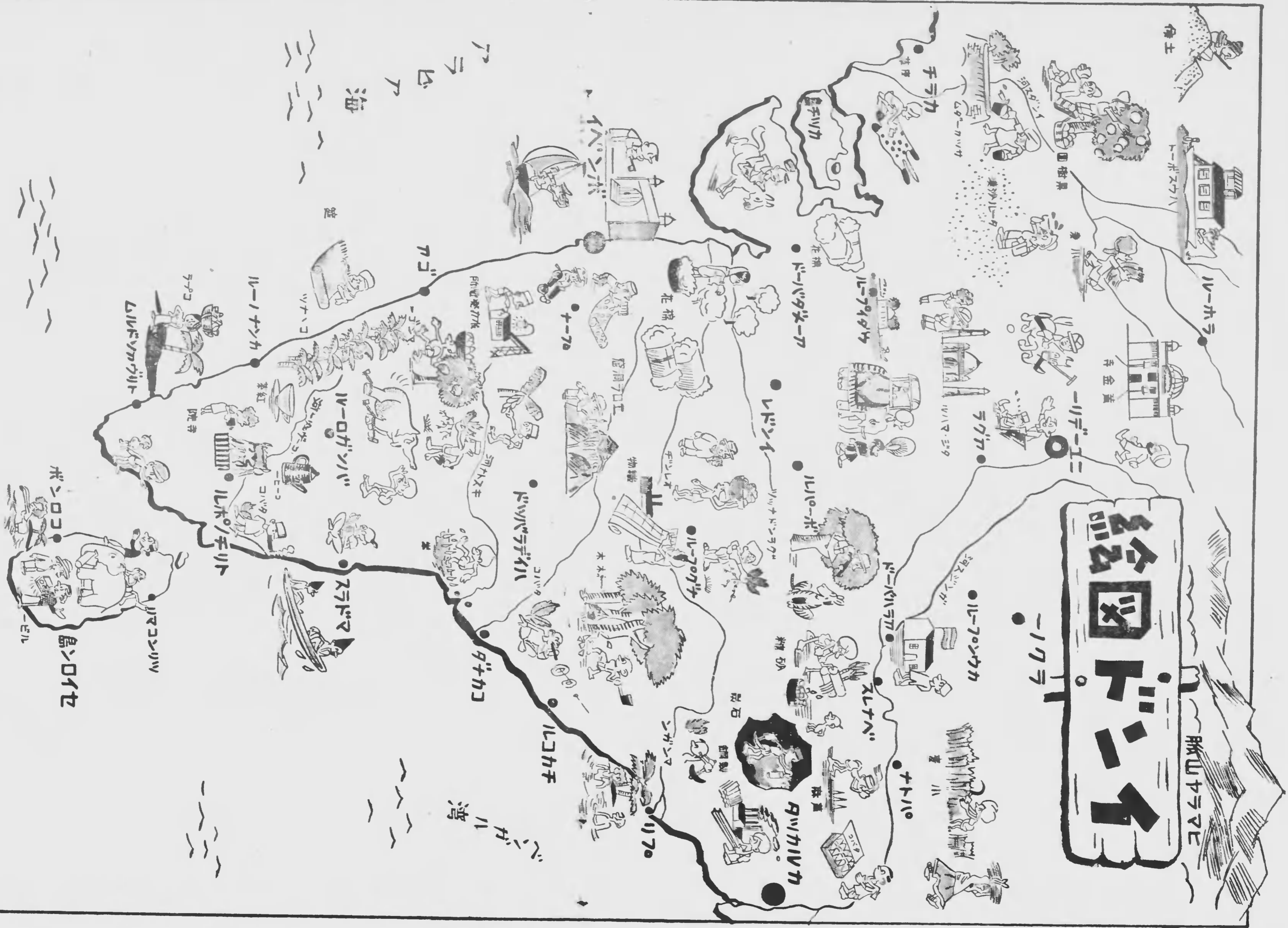
獨立を妨げる國內對立

このやうにして、インドの民族運動はつねにイギリスの暴虐な彈壓の前に壊滅されてきたのであるが、インド自體のなかにもまた民族運動の芽を摘み取り、獨立を不可能にする幾多の條件があることは否定できない。即ち宗教、種族、職業の相違に基づく社會の複雑性であり、それによる民族運動の不一致である。そのなかでインドの政治面に現はれるものに三つの有力な社會がある。全印度人口三億七千万の六割八分を占めるインド教徒、それを代表する國民會議派、同じく二割二分を占める回教徒、その代表である回教聯盟、同じく二割四分を占める土侯國がそれであり、これらは悉く異つた要求をもち、對英態度をまた異にするのである。イギリスの乗ずる隙がこゝにあり、インド獨立の不可能性もまたこゝに發してゐるのである

たとへば牛はインド教徒にとつて神聖視することのできないものであるが、これがたまたま回教徒の祭壇に生贄となることがある。インド教徒はこれをブラーマの神に對する最大の侮辱として回教徒への復讐を誓ふといふやうに、回教、インド教對立の原因はかうした宗教による習俗の相違に基づくものであるが、一九三一年カウンブールにおける衝突は死者四百名、負傷者千二百名、焼失家屋八百餘戸といふ大闘争で、回、印の民族運動合同が到底成立しないことを現實に證明したものである

後、國民會議派が自治八州の總職を執行して反英闘争を展開した時、回教聯盟では「インドが國民會議派から解放される日がきた」と宣言し、盛大な政治示威を行つたものであるが、回教聯盟の立場はこのやうに對英闘争に向けられるよりも、むしろ對インド教、即ち國民會議派への抗争に主力が注がれたのであつた。しかし回教社會の代表者ムハメット・アリが叫んだ「神の支配する世界においてわれわれはあくまで回教徒であ

洋ドサイン





インドは世界の茶の産地、色とりどり茶葉の茶摘み姿には風情がある。同じ、若い娘さんたちの茶摘み姿には風情がある。



インドは世界の茶の産地、色とりどり茶葉の茶摘み姿には風情がある。同じ、若い娘さんたちの茶摘み姿には風情がある。

なほこの一、二に厄介な存在はインド六百有餘の土侯國である。第一大戦當時、眞先に立つてイギリスに忠誠を誓つたものもこの土侯國であり、また今次の大戦勃発に際しても三百餘國の土侯が参戰を表明して獨立運動側へ大きな背旗を掲げてゐるのである。彼ら土侯はイギリスに忠誠を誓ふことによつて己れの領土を守つてを保障され、民衆を無條件に搾取することを許されようとするのである。かつて、元インド總督アーヴィンが或る土侯國を訪問した時、三百五十万圓に上る接待費を使用し、觀費だけでも十三万圓に上つたことなど、いかに土侯國が、イギリスの懐柔をとることに汲々としてゐるかを物語つてゐる。従つてイギリスの土侯國に對する方針も「イギリスのインド支配における優越であり、要緊である」として、彼らの専制を許し獨立運動の抑壓に重大な役割を課してゐるのである。インドの獨立は土侯國の崩壊を意味し、土侯專制の終焉である。獨立運動反對はイギリスの利害と一致する。かくて、褐色の専制君主と白色の専制君主とはいまやよく密接な

英の傀儡土侯國

なほこの一、二に厄介な存在はインド六百有餘の土侯國である。第一大戦當時、眞先に立つてイギリスに忠誠を誓つたものもこの土侯國であり、また今次の大戦勃発に際しても三百餘國の土侯が参戰を表明して獨立運動側へ大きな背旗を掲げてゐるのである。彼ら土侯はイギリスに忠誠を誓ふことによつて己れの領土を守つてを保障され、民衆を無條件に搾取することを許されようとするのである。かつて、元インド總督アーヴィンが或る土侯國を訪問した時、三百五十万圓に上る接待費を使用し、觀費だけでも十三万圓に上つたことなど、いかに土侯國が、イギリスの懐柔をとることに汲々としてゐるかを物語つてゐる。従つてイギリスの土侯國に對する方針も「イギリスのインド支配における優越であり、要緊である」として、彼らの専制を許し獨立運動の抑壓に重大な役割を課してゐるのである。インドの獨立は土侯國の崩壊を意味し、土侯專制の終焉である。獨立運動反對はイギリスの利害と一致する。かくて、褐色の専制君主と白色の専制君主とはいまやよく密接な



ニューデリー市に倣然とふんがまへるインド總督官邸。英國の威の手にこゝから全インドに伸ばされてゐるのだ。

イギリスの兵站基地

しかしこのやうにインドの民衆が東の間でもイギリスの關係から

好關係におかれようとしてゐるのである。自由、獨立を叫ぶインド民族運動が、インド自體に内蔵するからしたまふ、なほイギリスがどんな犠牲を拂つてもこれを把握しようとする努力してゐるのはなせだらうか。それは一言にしていへばインドが豊富な天産資源を包蔵するからにほかならない。豊かな資源をもつ絶大な魅力、その前にはさすがシルクハットのイギリス人も無智なインド人の手をとつて共にぬかづくべき運命をもつてゐるのかも知れない。インドの産業を語るにあつて、まづ氣のつくことは、インドは雨の國であるといふことである。實にインドはナイルによつて生命をつなされてゐるエジプトと同じく、全く降雨の多寡によつて支配されてゐるのであつて、モンスーンの訪れの遅い早いには直ちにインドの經濟状態に重大な影響を與へるのである。インドは北回歸線を境にしてその北半は温帯に、その南半は熱帯に属してゐるのであるが、しかしそのためインドの氣候は二分されず、ヒマラヤ山地から南へかけての全地域は一種に熱帯的季節風に見舞はれてゐるので、いつも蒸だしい高温をもちつづけてゐる。即ちインドの氣候は大體において乾季と雨季とに分けられ、乾季は十二月から五月へかけての頃で、冬期季節風といはれる乾燥した大陸風が殆んど全インドを襲ひ、この期間は殆んど降雨をみない。この乾季に反して雨季は大體

豊かな農産畜産物

さてそれではインドの産業にはどのやうなものがあるか、その主なものは先づ農産物と畜産物であらう。インドは古來その國土を唯一の農業に整理してゐる國であつて、いはゞ「土産」に生きてゐる國である。インドにおける六十萬の農村は河川の流域に、或は海岸の低地にいたるところに分布して、原始的な耕種方法をとつて強く土に結びついてゐるのである。従つてインドにおける米の生産高は一九三三年には四千六百三萬キロトンで世界の五割二分を占め、第一に立つてゐる。また小麦の生産高は一九三三年に九千六百萬キロトンで世界第三位を占め、今日世界における小麦の重要な輸出國の一つに數へられてゐる。水ぎに棉花はどうかといふと、これもまたアメリカ合衆國に次いで世界第二位の生産高を占め、一九三三年には九十萬キロトンを出して世界總生産高の一割六分を占めてゐる。なほ甘蔗にしても黄麻にしてもまた茶にしても何れも世界第一位か二位の大生産高を示してゐるほか、インドはまた素晴らしい大家畜群の所有者でもある。中

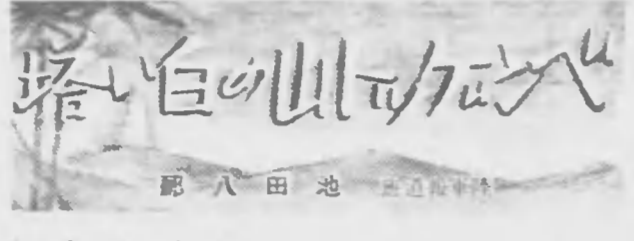
でも牛と種羊との数は著しい。特に牛の頭数は一九三二年には一億二千二百萬頭でアメリカ合衆國の二倍以上であり、家畜で知られてゐるアルゼンチンの四倍に相當し、世界第一位を占めてゐる。また種羊にしても三千五百萬頭で世界第七位に立つてゐる。イギリスが垂涎してインドを狙ひ、現にその經營に骨身を砕いてゐる理由もつまりはこゝにあるわけである。

三大都市の素描

以上のやうに、インドはもともと農業國であつて、總人口の九割は農村で占められ、インドには人口の都市集中といふ現象は餘り顯著でない。しかし大都市は割合に多く十万人以上のものは三十餘を數へることが出来る。このうち最も主要なものはカルカッタ、ボンベイ、ニューデリーの三市であらう。

カルカッタ市はベンゴール州の首府で人口約百四十八萬、英領中ロンドンに次ぐ大都會である。カルカッタが今日の盛況をみるやうになつたのは、東インド會社創立以來、鐵道や河川を利用してこゝを内地物産の集散中心地とし、また一方インド東海岸の海外貿易港とするため設備に努力した結果である。ボンベイ市はインド西海岸の要港で、一小島上に建設された

港である。人口約百十六萬、附近には十に餘る島がある。市街はもと歐洲人によつて建設されたものであるから、インド内地の町と異つてインド氣分は餘り濃溢してゐない。最後にニューデリー市は現在カルカッタに代つて全インド總督の駐在する都である。人口凡そ四十五萬、鐵道は五方から集中し、インドにおける政治上の中心となつてゐる。



北部ロソンの山脈中五千フィートの高原に世界の有名な避暑地として知られてゐるバギオ市、これに通ずるベンゲットの道路。この比息日本人の忘れることの出

この道路はバギオを避暑地にするために計畫され一九〇〇年から一九〇三年まで滿四年の月日と豫算の十倍にも達した百五十萬圓を費して工事の進捗は遅々として進まず、工事はこの半ばにも達しない状態であつた。そこで比島政府當局では工事を中止するか、豫定計畫を変更するかの議論が盛んに叫ばれてゐたが、いよいよ米國人ケノン少佐を工事主任

として迎へ同年六月工事を進行した。工事は容易でないことを察した同少佐は、断然日本人の援助を得ることになり、日本から六百餘名の移民を呼寄せ、工事の進捗をはかつた。しかし莫大な経費と多数の人数を以てしても出来なかつた天然の要害を、いかに日本人の手によつたといへば一朝一夕に出来上るものではなく、不慮の災難に遭つたり、悪疫に罹つたりと輕れたものは實に數百の多きに達した。勲を突くやうな山と山との谷間で、ド、ド、ド、ゴウノ、と不気味な地鳴りが幾度となくした。その都度驚愕を振り上げ、シャベルを持つた人達は、あゝまた地這りだ、と叫びながら、心配と不安を見合はすのであつた。地質が軟弱のため何の前兆もなく突如的に山崩れがおこるのであつたが、その度にこの山の人々、谷底にさらはれたり、岩石の下敷になつたりして、或は負傷し、或は落命したのである。

この工事は人跡まれな峡谷を越つて進んでゆくので、交通不便と瘴癘の害の不備のため、マラリヤ、コレラ、赤痢、脚氣等の悪疫に罹るもの數しれず、かつ百フィートもある鋼一本に命を托して、急峻な絶壁で岩盤を破壊するためのダイナマイト裝填中誤つて一命を失つたものも十指に餘る程であつた。

朝は霧の深い味津江に勇氣を散らし、夕は霧のやうに埃れた體を溪流に浴し、夜は闇な夢も結ぶことの出来ない天幕にこもる苦難と闘ひつづけた野人たちが、二年の後、全道路の開通を見た時の喜びはいかばかりであつたらう。かくして世界無比の難工事といはれたベンゲット道路は、滿四十年の日と工費六百萬圓を費して一九〇五年(明治三十八年)竣工したのであつた。日本人労働者約千五百名中、七百人の人命を失ひ、二千人平均、五十



櫻花はらりと社頭に散つて

靖國神社春の臨時大祭せまる

大東亞戦争下、初の靖國神社臨時大祭は、この盛儀を真近に控へて靖國神社の柱の祭神を新たに迎へて四月二十四日から二十八日まで厳かに執り行はせられる。幸靈の神蹟まる日を待つかのやうである。寫眞は、臨時大祭委員長の大任を拜して盛儀の差なきやう社頭に祈念した及川海軍大將

遺骨を抱いて

陸軍士計軍曹 達原 實 作詞
海軍 軍 樂 隊 作曲

感情を以つて

Music score for the song "遺骨を抱いて". It includes a vocal line with lyrics and a piano accompaniment. The lyrics are: 一番乗りをやるんだと 力んで死んだ戦友の 遺骨を抱いて今はいる シンガポールの街の朝 男だなんて泣くものか かねてこらへた感激も 山から起るパンザイに 思はず頬が濡れてくる 負けずぎらひの戦友の かたみの國旗を取り出して 雨によこれた寄せ書きを 山の頂上に立て、やる 戦友よ見てくれあの風いだ マラッカ海の十字星 夜を日についだ進撃に 君と眺めたあの星を (五) シンガポールを陥しても まだ進撃はこれからだ 遺骨を抱いて俺は征く 守ってくれよ戦友よ

一番乗りをやるんだと
力んで死んだ戦友の
遺骨を抱いて今はいる
シンガポールの街の朝

(二)
男だなんて泣くものか
かねてこらへた感激も
山から起るパンザイに
思はず頬が濡れてくる

(三)
負けずぎらひの戦友の
かたみの國旗を取り出して
雨によこれた寄せ書きを
山の頂上に立て、やる

(四)
戦友よ見てくれあの風いだ
マラッカ海の十字星
夜を日についだ進撃に
君と眺めたあの星を

(五)
シンガポールを陥しても
まだ進撃はこれからだ
遺骨を抱いて俺は征く
守ってくれよ戦友よ



皇軍の新鋭機はこゝの通りだ。この優秀機は、かくの通り米英機を撃破した。マニラの目抜き通りエスコルタ街の寫眞展にて

戦火に懐いた住民には、まづ慰安を興へて気分を和らげよう。フィリピン島の寫眞展にて

複雑な近代戦においては前面の敵を撃破することに五分の勝利があるとすれば、あとの半分は占領地域の治安工作の如何にかゝつてゐるといつてもよい。わが軍はこの意味から赫々たる戦果の後に續いて占領地域の治安工作に不休の努力を傾けてゐる

フィリピンにおいては陸海からする猛攻撃によつて久しく抗戦をつげてゐたパタアン半島の米比軍を撃滅し最後の巨弾をコレヒドール要塞に浴びせてゐるが、マリベレス攻略は既にパタアン作戦にとつて刺すものであつて、後方の占領地区ではマニラを中心として活潑な治安工作が行はれ、新生フィリピンの再建は着々と進められてゐる

日旗のもと、復興したマニラ市エスコルタ街

東亞共榮圏は、われらの手で築かう。マニラ市内の傳單並びに布告の概布

大東亞戦争開始以來、刻々と擴がつてゆく皇軍の赫々たる戦果を地圖によつてマニラ市民に知らせる。マニラ市郵便局前にて

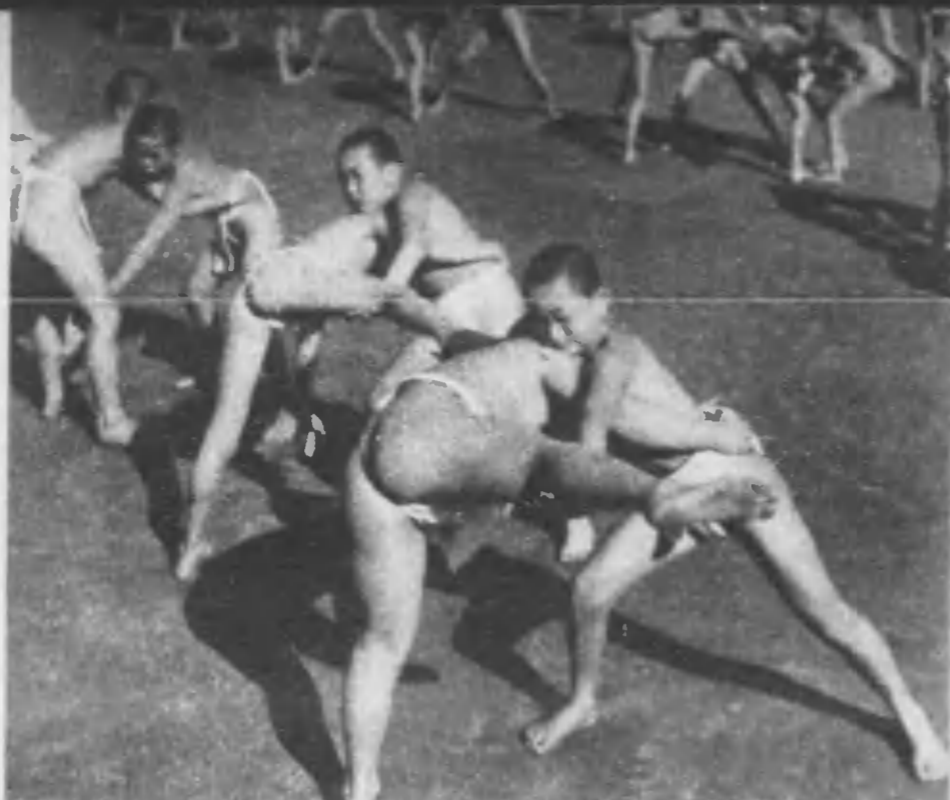
マニラ 東大

娘は唄ふ 亜の歌





「エイ、オー」可愛らしい気合が校庭を照して、女生徒の遊刀體操



らかな空気を吸ひながら肉體の摩擦を通して心身を練成するものであり、冷水、乾布摩擦の條練は、酷暑に堪へ、酷暑にも掛けない強い皮膚の練成に役立つと同時に、己に克つ勇猛心を養ふためです

しかしながら國民學校の児童はまだ發育の途上であり、いはゞ若葉若芽にも比較されるので、體格の完成に必要な榮養が不足しては

相撲體操に滑刺と四肢をよむ、若い素肌に春光がびら〜とほれてゐる

いけません。食物の問題は現在のところ種々の困難を伴ふ場合があるのはやむを得ませんが、學校で集團協同炊事を行つて榮養食を與へるのはどの點からみても一番合理的な方法と思はれます

しかも身體の榮養を十分にするには、是非必要な齒を強くすること、むし歯を豫防することはまづ第一に實行しなければならぬこと

榮養に缺けてゐる児童には、貴校に學校給食の施設があつて、児童の偏食を矯正したり、榮養に萬全を期してゐる

です。國民學校に學校齒科醫を置く必要が叫ばれてゐるのも全く當然なことですが、さらに身體検査にも、健康相談にも、養護學校の教育にも、養護訓練の活動にも、衛生養護を中心とした教育を施してゆくことは、力強い大東亞の建設を目指して進まねばならない今、どの國民學校でも始めて戴かねばならないこと、思ひます

文部省體育局 大西永次郎



全校生徒そろつてイチニ、イチニ、乾布摩擦で皮膚の條練

今から二十年後、否十年後の大東亞を背負つて第一線に活躍しなくてはならない日本國民は、實に今日の國民學校の児童です。アジアを本當に十億のアジア民族のアジアとして立派に建設してゆくためには、大東亞の盟主たるべき日本國民の一人々々が力強い指導力を持つた立派な日本人でなくてはなりません

大東亞の地域は廣い、北は極寒零下三十度から、南は酷熱四十度を越える廣い地域がわれ等日本民族が將來榮えゆくところとして約束されてゐるのです。しかし、この廣い地域に進出し、大東亞を背負つて活躍するにはまづ何といつても強い身體が必要です。しつかり身體を鍛へておこななくてはその時のお役に立ちません。従つて國民學校の體育訓練はどんなに寒い土地でも、どんなに暑い土地でも働きるやうな人間を作る體育訓練でなければなりません

戸外の集團體操は、陽光を一杯に浴び、清

僕等の任務は

まづ

身體

宮崎縣延岡市 岡富國民學校



「齒をとつたか、さあ飲みなさい」先生の號令で、苦い顔もせず榮養劑を飲む児童たち



撮影 梅本忠男

寫眞週報 昭和十七年三月十五日 第三千七百四十五號 毎週一圓五角 日本郵政特許 第三〇七號

第五回

特別報國債券

ん け い ざ め ま

一枚一円

てま日十三月五が日十二月四 出賣

第二回戰時

貯蓄債券

一枚二十円・十円・五円

報國債券

一枚十円・五円

賣出中

行銀業勸本日・省信遞・省藏大

内閣印刷局印刷發行

特別報國-A4 紙張定規は33mmの長さ